

議会モニターアンケート 意見集約（令和7年第1回定例会分）

3月議会でお気づきになった点など、ご意見をお聞かせください。

意見・提言・感想等	回答
<p>一般質問について</p> <p>・瑞穂町議会基本条例第13条3項において「議員は、一般質問等に当たっては、目的を十分に認識し、単なる町長等への質問に終始することなく、政策論議を展開します。」と記されています。しかし政策論議が展開されているとはまだ言えない内容が多いと思います。質問者は自分の主張を明確にし、十分にその実現に対する裏付けをもって臨むべきだと思います。一般質問はほとんど全議員が行っていますが、無理にやる必要はないのではないかとおもいます。十分に準備し確実に成果出す事の方が重要です。</p> <p>現在の一般質問は結論がなくあいまいなまま終わってしまい、何のために時間を使ったのか、もったいない気がします。政策論議を行うのであるから次に向かった結論が合ってしかるべきです。今は出来なくても優先順位から言って3番目になるとか、出来ないとか、調査検討をし、いつまでに回答するか、最終結論が出るまで論議は継続するのが基本条例を実行することだと思います。</p> <p>先般子ども議会が開催されました。生徒の説明はパワーポイントで行われていました。最近は議会の一般質問でフリップを使った説明も出てきましたが、議会ではタブレットが使われているので、これを活用することも研究したらどうでしょうか。</p> <p>特にグラフ化したデータや、写真などを使った説明は理解を助けると思います。</p>	<p>一般質問は議員の「力量」が示される場であると言われてはいます。議員個人が力量に対する自己評価と研鑽に努める中で、町民の皆さんからの、ご期待に沿えるように全議員で、ご意見を共有します。</p> <p>また、議会としても議員の資質向上に努めます。</p> <p>一般質問とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のための政策を提案し実現に向けて役所を動かすこと。 ・問題をはらんだ現状について住民に向けて正確な情報提供すること。 ・それまで見えていなかった重要な地域の課題を「見える化」すること。 <p>等も成果であるとされています。また、議員の政策発想を議会の政策資源として活用することも可能と捉えています。</p> <p>瑞穂町議会でもフリップやパネルを利用したプレゼンテーションは可能です。ただし、議事録が発言を記録するもの、視覚や聴覚に障害がある方もいることも考慮し、研究していきます。</p>
<p>議案審議について</p> <p>・議案審議の流れとして議案説明→質疑応答→討論→表決となっているが、今まで傍聴してきた中で討論されたことがないと思う。どのような場面で討論するのか見てみたい。また表決において否決されたことがなかった。否決された場合、後でどのように処置されるのか分からない。このような議案審議の流れが常態化しているのはある種問題があるのではないかとと思われる。</p> <p>議員の質疑が町民全体の福祉向上や豊かなまちづくりという大きな視点に立った質疑になっていないのが大きな原因だと思う。予算審議における質問では前回と予算額が変わった理由とか細かい質問内容が多い。今、町で重点的に取り組むべき課題はどこで、その課題解決につながる予算になっているかと言いうような大きな視点からの質問がない。其のため政策論議にならず、ただ質問し、議案を追認するだけで、お互いが切磋琢磨し、まちをよりよくしていこうという審議になっていかないのは残念である。</p> <p>小中学校の学力が全国レベルより大幅に低く、それが長期にわたり常態化している。瑞穂町の選挙の投票率は東京都の中でいつも最下位にいる。瑞穂町の発展はそこに住む人の教育レベル（特に将来の町を支える若者の教育）や政治に対する関心だと思う。このような問題がどのように予算に反映され、課題解決にむすびつくのかというようなことが論議されなければ課題が残されたままの、発展しない町になってしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>表決の結果、得られる議会としての意思決定の総評である議決は、議決事件によって使い分け、可決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・否決（予算、条例、意見書、決議等）、承認・不承認（専決処分の報告）、同意・不同意（人事案件）、認定・不認定（決算）、採択・不採択（請願）などがあります。 <p>同一会期中においては、否決された同一議案を再び審議することはできません。この「一時不再議の原則」は、議事の効率化を進めるためのものです。</p> <p>ただし、会期を別にすれば、決議した事案を再び審査することができます。また、地方自治法第176条関係では再議制度が認められています。</p> <p>いただいた意見は、全議員で共有させていただきます。</p> <p>なお、予算・決算審議においては、議場で賛成討論、反対討論を行っています。</p>
<p>その他</p> <p>・いつものとおり議長の第一声から始まりました。議員質問で「子どもたちに世界陸上を観戦する機会を」に対し、教育長の「大変良い事です・・・」との発言に心の温かさが強く伝わり何故かホッとさせられました。</p>	<p>ご感想いただきありがとうございます。</p>
<p>・議員の多くが欧米の政策を取り入れることが“善”と考えている傾向が見られました。欧米の政策をなんでも取り入れれば良いわけではないと思います。“日本らしさ”が抜け落ち日本にはなじまない文化もあると思います。LGBT、男女共同参画、SDGs、移民、ワクチンなど、“負”の部分の結果が出ている欧米から学んでいますか？“善”を前提に推奨するだけでなく“負”の結果にも目を向け、世界の情報を共有し検証し町のかじ取りをお願いしたい。賛否両論の議会であってほしいと思います。</p>	<p>各議員、広い視野でさまざまな出来事を捉えられるよう心掛けていきます。ご意見については、全議員で共有します。</p>

議会だよりについてご意見をお聞かせください。

<p>・以前より見やすくなってきていると思うが、まだ文字による説明がおおいと思う。イラストやグラフを使い視覚で説明できるところを増やせないかと思う。また文章も箇条書きにできる所は箇条書きの方が視覚で理解しやすいのではないかと思う。</p>	<p>ご意見いただき、ありがとうございます。 議会の情報は多岐にわたり、掲載する情報も多くなります。ご意見のとおり、情報を整理し、工夫していきたいと思います。</p>
<p>・議員の方々の活動をもう少し見える化する必要があると感じます。先に提案した議案の経過報告や、議員の方々がどうしても取り組みたい議案などを語っていただき、議員の方々の”人となり”が感じられる議会だよりに期待したいです。</p>	<p>ご提案につきましては、今後研究を重ね、より中身の充実した議会だよりとなるよう努力します。</p>
<p>・議会だよりを開くとカラー写真の工夫（場所）などで大変読みやすく編集委員のセンスの良さ、ご苦労なさっている様子が伝わってきます。</p>	<p>ご評価をいただき、ありがとうございます。 今後も読みやすい紙面づくりに努めてまいります。</p>